

学校の教育目標	「かがやけ篠三っ子」 かんがえる子 がんばる子 やさしい子 けんこうな子
----------------	---

国が示す総合的な学習の時間の目標	
<p>探究的な見方・考え方を働かせ、横断的・総合的な学習を行うことを通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 探究的な学習の課程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付け、課題に関わる概念を形成し、探究的な学習のよさを理解するようにする。</p> <p>(2) 実社会や実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を養う。</p>	

学校の総合的な学習の時間の目標	
<p>(1) 探究的な学習の過程において、課題の解決に必要な知識及び技能を身に付けるとともに、自分の生活や身近な地域にはそれぞれのよさやつながりがあることや、諸問題の解決に向けて連携や協力がなされ、そこには自分にもできることがあるということがわかる。</p> <p>(2) 自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、価値ある課題を自分で立て、手段を選択して情報を集め、各教科等で学習したことを活用しながら整理・分析して、相手や目的に応じてまとめ、表現する力を身に付ける。</p> <p>(3) 探究的な学習に主体的・協働的に取り組むとともに、自他の思いや願いを尊重しながら、身近な地域に自ら関わろうとする態度を育てる。</p>	

育てようとする資質や能力及び態度	
知識・技能	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> アンケートやインタビューを相手や場面に応じて適切に実施する。 自分の生活や身近な地域についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。 	<ul style="list-style-type: none"> 情報の量や質、今後の見通しを踏まえ、適切な方法を用いて情報を整理する。 自分の生活や身近な地域についての理解は、探究的に学習してきたことの成果であることに気付く。
思考・判断・表現	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 自分の生活や身近な地域の中から問いを見だし、思いや願いを基に課題を立てる。 目的に応じて手段を選択し、情報を収集・蓄積する。 比較する、分類する、関連付けるなどして情報を整理・分析する。 自分の伝えたいことを明確にし、方法を工夫しながらまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 見通しをもって価値ある課題を自分で立て、解決の方法や手順を考える。 目的に応じて手段を選択・工夫し、情報を収集し、見通しをもって蓄積する。 考えるための技法を駆使しながら、情報を整理・分析し、課題に即して判断する。 自分の意見や立場を明確にし、相手や目的に応じて分かりやすくまとめ・表現する。
主体的に学習に取り組む態度	
第3・4学年	第5・6学年
<ul style="list-style-type: none"> 自分なりの目標をもって、友達と協力して粘り強く取り組み、それを通して自分のよさや可能性を理解しようとする。 自他の意見や考えの違いに気付き、それを受け入れようとする。 身近な地域の問題に関心をもち、自らかかわろうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> 明確な目標をもって、友達と信頼し合いながら粘り強く取り組み、それを通して、自分のよさや可能性を伸ばそうとする。 異なる意見や他者の考えを受け入れ、そのよさを生かそうとする。 身近な地域の問題を自分事として捉え、自分に出来ることを考えて自らかかわろうとする。

内 容	学習対象	学習事項
第3学年	「えどがわ大すき」 ・小松菜 ・篠田堀 等	自分たちの住む地域のよさに気付き、愛着をもって生活をする。
第4学年	「広がれ！心のバリアフリー」 ・障害理解教育	はこべ学級との交流を通して障害のある方々に対しての正しい理解を深め共生
第5学年	「育て！わたしたちの篠三米」 ・米	社会科の学習をきっかけに米作りを行い、それを通して生産者の苦労や米には多くの栄養があることが分かる。
第6学年	「マイドリーム」 ・職業調べ ・将来の夢	探究的な活動(職場体験やボランティア活動)を通して、働くことに対する理解を深め、主体的に問題を解決し、学習したことを今後の生き方に活かすことができる。

学習活動	指導方法	指導体制	学習の評価
<ul style="list-style-type: none"> 3年生は地域、4年生は障害理解教育、5年生は稲作、6年生は防災を主なテーマとする。 学年共通の探究課題と活動計画のもと、学級ごとの柔軟な学習活動を展開する。 1年間1単元での取組を基本とする。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科との関連を図りながら、児童の課題意識を連続発展させる支援を行う。 「考えるための技法」の積極的な活用 	<ul style="list-style-type: none"> 地域教育力を効果的に運用する。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人内評価を重視し、指導と評価の一体化を充実させる。 ポートフォリオを活用した評価の充実